

第2期岩美町地域創生総合戦略の検証について

1. 令和3年度の人口動向

○自然増減

→出生数では年次目標の60人を17人上回る77人となり、死亡者数では前年度と比較し9人減少となったことで自然減少が20人緩和される結果となった。出生数に影響をあたえる「産み育てる年代」の人口に大きな変化は無いいため、子育て施策等の効果と推察しているものの、引く続き、「産み育てる年代」の大きな人口減少とならないよう取り組みを進める必要がある。

○社会増減

→昨年度は新型コロナウイルス感染症の影響が要因と推察される住民異動の自粛等により、平成元年度以降、転入者数・転出者数ともに最小人数であったが、令和3年度は転入者数において前年度と比較し32人の増加、転出者数においては3人の増加となった。社会増減では減少数が29人緩和されることとなったが、住民異動の自粛からのリバウンドによる転出超過の急増とならないよう取り組む必要がある。

(単位：人)

年度		令和2年度 (h)	令和3年度 (g)	増減 (g)-(h)	参考 平成26年度
人口増減	増減(c)+(f)	△179	△130	49	△226
自然増減	出生者数(a)	66	77	11	60
	死亡者数(b)	191	182	△9	164
	増減(c)=(a)-(b)	△125	△105	20	△104
社会増減	転入者数(d)	235	267	32	242
	転出者数(e)	289	292	3	364
	増減(f)=(d)-(e)	△54	△25	29	△122

2. 「重要業績評価指標(KPI)」の達成度・・・別紙1

第2期地域創生総合戦略に掲げる21項目のKPIについて、半数以上の14項目で2年目の目標を達成することが出来なかった。

	達成状況	令和3年度
重要業績評価指標(KPI)	達成	7項目
	未達成	14項目

3. 対応方針

第2期の初年度であった令和2年度と同様に、新型コロナウイルス感染症の影響が大きく、対面での活動自粛や人数制限などの感染予防措置等を行いながら実施可能な取組を進めたものの、県境を越えた移動自粛もあり14項目で未達成となった。

新型コロナウイルス感染症の状況を勘案しつつ、引き続き、オンラインの活用などコロナ禍での取組を進めるとともにポストコロナに向けて取り組む。

《新型コロナウイルス感染症の影響が大きかった項目》

- ・子育て支援センター使用指標
- ・観光客の入込数
- ・県外からの転入者
- ・関係人口の創出拡大を意図するイベント、交流会の開催数
- ・空き家入居世帯数
- ・新規起業者数
- ・地域創生チャレンジサポート推進補助金件数
- ・特定健診受診率